

株主・投資家への情報発信

コミュニケーションを重視し、
企業情報を適時かつ公正に開示します。

2006年度注力ポイント

- 海外投資家・個人投資家とのコミュニケーション強化

2006年度の主な取り組み

- 海外機関投資家向けニュースメール配信を開始
- 個人投資家向けニュースメール配信加入者増加
- 投資家向けWebサイトをリニューアル

2007年度注力ポイント

- 国内機関投資家向けIRイベントの充実(事業セミナー、工場見学等)

OKIグループのIR活動

OKIグループは、株主・投資家の皆様に、企業概要、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示するよう努めています。また、これらの情報開示を通して経営の透明性を高め、経営状況を市場に正しくご理解いただくことで、信頼関係の構築や企業価値の向上を果たしていけるよう、IR活動を積極的に推進しています。

活動にあたっては、市場の声を適切に経営や事業活動に活かしていくことが、さらなる経営の効率化と企業価値の向上につながるという認識のもと、社長をはじめ経営陣自らが、投資家説明会やIRミーティングなど各種のコミュニケーション活動を実施しています。また、2007年4月には、より経営に直結したIR活動を実践するために、IR室を経営推進本部内に統合しました。

OKIグループは、今後も会社法や金融商品取引法、東証開示規則などの改正への対応なども含め、さらに適切で迅速な情報開示に努めていきます。

投資家説明会・IRミーティングを実施

OKIでは、2003年度の第1四半期から四半期決算発表を実施しています。決算発表と併せて開催している機関投資家向け説明会では、社長をはじめとする経営陣が決算情報だけでなくビジョンや経営戦略を語っています。

また、決算発表とは別に、機関投資家向けの個別IRミーティングを国内外で積極的に実施しており、経営戦略や事業戦略、



決算説明会(2007年2月)

個別商品・技術など幅広いテーマについて説明しています。併せて事業所見学会なども実施するなど、国内、海外の機関投資家にOKIグループを正しくご理解いただけるよう努めています。

IRサイトやニュースメールで情報を発信

OKIは、情報開示の公平性を保つため、決算情報をはじめとするさまざまなIR情報を、自社のWebサイト(IRサイト)に日本語・英語で同時掲載しています。また、機関投資家やサイト上から登録いただいた方など、2,700名を超える方々に随時「ニュースメール」を配信しています。ニュースメールは決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールで配信するもので、2006年度からは英文でのニュースメール配信も開始しました。また、個人投資家向けサイトでは、図やグラフ、動画や音声を活用したわかりやすい会社説明用のコンテンツを提供しています。

こうした工夫の結果、当社のIRサイトは、大和インベスター・リレーションズ株式会社による「インターネットIR優秀企業」に6年連続で選出されました。



リニューアルした投資家向けWebサイト

インサイダー取引防止を徹底

OKIグループは、株主・投資家への適時・適切な情報開示とともに、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、インサイダー取引の防止に努めています。たとえば、「インサイダー情報管理責任者」を設置して、インサイダー情報に該当するかどうかの判断など、認定・解除のプロセスを管理しているほか、リスクマネ

ジメントの一環として「インサイダー取引防止規程」の遵守をグループ内に徹底するよう社員教育を行っています。

SRI評価機関による評価

企業への投資判断において、財務的な側面だけでなく社会・環境などCSRの取り組みを評価基準とするSRI(社会的責任投資)が注目されています。

OKIは2007年5月現在、以下のSRIインデックス(株価指数)の構成銘柄に選定されています。



社員の声

経営陣が行う経営説明会やIR室が行う個別ミーティング、事業所案内など、OKIが開催するIRミーティングは年間約200回に及びます。その際、より多くの株主・投資家の皆様にOKIグループに関する有用な情報をお伝えするため、IRサイトやニュースメール、アニュアルレポートなどさまざまなメディア、ツールを活用しています。今後も、開示する内容が公平かつ最新であるよう細心の注意を払いつつ、迅速・適切な情報開示に努めていきます。



経営推進本部IR室
宮地 圭子

多様なステークホルダーに応じたコミュニケーション

株主・投資家以外にも、さまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを推進しています。

「OKI情報通信融合ソリューションフェア2006」を開催

OKIグループでは、お客様と直接コミュニケーションを図りながら商品・サービスなどを紹介するため、毎年、「OKI情報通信融合ソリューションフェア」を開催しています。2006年度は、11月9日から11日の3日間、「体感しよう、コビキタスサービスが作り出すe社会®を」をコンセプトに、最新ソリューションや先端技術製品の展示、各界のオピニオンリーダーによる講演や各種セミナーのほか、休憩コーナーにはCSR活動を紹介するパネル展示も行い、約4,700名のお客様にOKIグループの多面的な取り組みをご覧いただきました。

最終日の11日は、OKIグループの社員と家族、OBなどを対象とした「ファミリーDAY」とし、通常展示に加えて、電話の仕組みやロボットの動きを小学生にもわかりやすく説明する「物知り教室」などを行いました。



ファミリーDAYに行われた「物知り教室」

お取引先への各種説明会を通じて情報交換を推進

OKIは、各生産拠点で、お取引先との円滑かつ緊密なコミュニケーションを図るために、賀詞交歓会、事業方針説明会、生産計画説明会などを実施しています。

経営トップと社員のコミュニケーションを強化

OKIグループは、経営トップと社員の双方向コミュニケーションに力を入れています。社長が各部門のさまざまな階層の社員と少人数単位で事業の方向性や業務上の課題などを語り合う「ワークアウト」を毎月実施し、討議内容をイントラネットを通じて全社員に公開しているほか、半年ごとに社長が自ら主要拠点を回り、経営計画・施策を社員に直接説明しています。

「NPO活動報告会」を実施

OKIグループは、社会貢献活動で協働しているNPO(非営利団体)の活動に対する社員の理解を深め、コミュニケーションを促進していくために、毎年「OKI愛の100円募金」(P32参照)で支援するNPOの中から2団体を招き、活動報告会を実施しています。

2006年度は、アジアの開発途上国を対象に医療支援を行う「ピープルズ・ホープ・ジャパン」と、ラオスで学校図書室の整備や絵本の出版支援などを行う「ラオスのこども」を招いて活動報告会を行いました。



活動報告を行う「ラオスのこども」の方々

コンプライアンスの推進

お客様満足への向上

株主・投資家への情報発信

社員の尊重

環境への対応

社会貢献